

## 立茎後前半の管理

### 【生育状況】

1. 全般的に春芽は低収の産地多く必然的に立茎も前進化されました。
2. 立茎後の気温上昇で茎葉仕上がりや二次側枝の動きも活発です。
3. 5月の高温の影響で平年以上の階級率で夏芽も比較的太物中心です。

### 【今後の管理】

1. 高温で茎葉仕上がり前進化で梅雨入り～開け高温でのストレスは増すと思われますので新茎・新根の充実に**アミクエ5～10kg灌水処理**。
2. 茎葉は軟弱気味で過繁茂の圃場では**PKゴー2000倍やシリカ水1000倍の葉面散布**。
3. 土壌EC（0.7～0.8）を測定して高い場合は施肥量を減肥若しくは施肥間隔を空ける。
4. 地域により茎枯れ、斑点、アザミウマも平年より多くなって来ているので前半の防除は十分にします。
5. 夏芽の収量と階級維持にカリ肥料の**ふとる5～10kg、カリッと1kgの灌水処理**。

立茎後の旬日平均気温（久留米アメダス）

